

行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	国土地理院施設整備に必要な経費		事業開始年度	昭和53年度		作成責任者
担当部局庁	国土地理院		担当課室	総務部会計課		課長 秋葉 秀樹
会計区分	一般会計		上位政策	-		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計 画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	国土地理院が使用する各種観測施設等の維持のため、必要不可欠な施設の改修を行い安定的な観測の維持・データ収集等に資する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	老朽化した施設や耐用年数を迎える機器等の更新など真にやむを得ない施設の改修を実施。					
実施状況	<p>平成21年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国25ヶ所に設置されている験潮場の観測機器「高精度自動験潮儀」3式の更新。 ・つくばVLBI観測局の精密周波数標準装置1式並びに始良及び父島VLBI観測局の周波数標準装置2式を更新。 ・一般管理研究合同庁舎設備「直流電源設備」を更新。 ・「庁舎施設の総合耐震計画基準」による診断において、可及的速やかに改修等の措置を講ずる必要があるとされている施設棟の耐震改修を行うにあたり必要となる事前調査・設計、その他軽微な設備の改修を実施。 <p>平成20年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国25ヶ所に設置されている験潮場の観測機器「高精度自動験潮儀」3式の更新。 ・つくばVLBI観測局のアンテナ補修 ・父島VLBI観測局アンテナ内空調機器の更新 					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	144	139	145	92	66
	執行額	156	109	121		
	執行率	108.4%	78.0%	83.6%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・ 用途の把握 水準・ 状況	<p>・発注先の選定に当たっては、透明性及び公平性の確保を図る観点から、一般競争入札による手続きを経たうえで、発注先を特定し、請負契約を締結している。</p> <p>・国土交通省(国土地理院)が自ら又は支出委任により国土交通省(関東地方整備局)が行う契約に基づき支出していること、また関東地方整備局からの進捗状況の報告など省内の連携を密に行うなど、支出先及び用途の把握については明確に把握している。</p>				
	見直しの 余地	<p>・従来より、耐用年数を迎える観測機器の更新など真にやむを得ないものについて予算を執行している。</p> <p>・今後も、緊急度及び優先度を考慮し、真にやむを得ないものについて、必要最小限の改修を行う。</p> <p>(20年以上経過した事務事業の廃止を前提とする検証) 本事業は、国土地理院が保有する庁舎等各種施設の整備を行うためのものである。すでに国土地理院が筑波研究学園都市へ移転してから20余年が経過するなど各種施設は老朽化が進んでおり、その状況により国土地理院の所掌事業に支障を来すものについては改修が必要になることから、引き続き継続することが必要ではあるものの、その実施に当たっては、引き続き緊急度及び優先度を考慮した真にやむを得ない必要最小限のものに限定した施設・設備の改修に努める。</p>				
予算 監視 の 所 見 率 化	<p>【一部改善】 施設整備については、必要最小限のものに限定し、さらに重点化のうえ行う。</p>					
補 記	<p>※「執行額」に前年度からの繰越に伴う金額が含まれるため、「執行率」が100%を越えている。</p>					
	<p>【予算科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・020 国土地理院施設費 ・95 国土地理院施設整備に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) ・95016-1204-15 施設整備費 145百万円 121百万円 					

国土地理院
121百万円

老朽化した観測機器の
更新、軽微な設備の設置

【一般競争入札】

A. 民間(5社)
83百万円

観測施設に設置してある観測機器の補修・更新
の実施。

【随意契約】

B. 民間(2社)
1百万円

自動水洗装置の設置等。

C. 関東地方整備局
37百万円

庁舎及び各種設備等の
改修

【一般競争入札】

D. 民間(2社)
37百万円

施設棟(画像工学精密機械試験場)の建築改修
工事及び電気設備改修その他の実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. アンリツ(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	精密周波数標準装置更新	31			
役務	精密周波数標準装置のオーバーホール	6			
計		37	計		0
B. 三富士電設工業(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	本館1階トイレ手洗自動水栓装置取付	1			
計		1	計		0
C. 関東地方整備局			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	庁舎及び各種設備の改修	37			
計		37	計		0
D. 大昭建設(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	画像工学精密機械試験場建築改修工事	26			
計		26	計		0

